

第9回地区庶務担当理事連絡協議会

△森会長挨拶

森府医会長は、冒頭、第29回日本医学会総会2015関西について、全体の登録者数が伸び悩んでいる状況から、事前登録締切が3月24日まで延長されたことを報告し、未登録者への一層の働きかけを求めた。

また、中央情勢について、現在の株高維持が公的年金資産の運用による部分が多いことに言及し「年金運用基金を財源として株高を維持するような施策は由々しき問題で、破綻した場合に国民が大損失を被ることになる」と危惧した。さらに選挙権を18歳以上に引き下げる動きについても、「民法等も含めて18歳以上を成人と扱わなければ社会の中で齟齬を来すことになる」との考えを示した上で、引き続き安倍政権の動向を注視する必要があると強調した。

続いて介護報酬改定について、大幅なマイナス改定により厳しい運営を強いられることが想定される中で、介護職員の処遇のみを上げることは現実的に困難であろうとの見通しを示した。

最後に、地域医療を守るためには地区医と各自治体の緊密な連携が不可欠であるとの考えを強調した上で、4月に行われる統一地方選挙を重視する姿勢を示し、挨拶を締めくくった。

△報告ならびに協議事項

1. 透析医療の公費の取り扱いについて（三木理事）

自立支援医療（更生医療）と特定疾病療養受療（マル長）を併用する患者の公費の取り扱いについて、会計検査院から取扱いの誤りを市町村が指摘されたことから、透析医療を扱う医療機関においては、保険証と更生医療受給者証の確認とともに、特定疾病療養受療（マル長）対象者であるか否かの確認について協力を求めた。（医報1月15日号参照）

今後、市町村が会計検査院の指摘に対応するにあたり、医療機関にレセプトの過誤調整の協力を依頼するため、府医から京都府・京都市には、事前に各地区医への説明を求めていることを報告し、各地区での対応を依頼した。

2. 最近の中央情勢について（城守理事）

1月下旬から2月中旬にかけての社会・医療保険状況について、地域医療構想や病床機能報告制度、医師会組織率の話題を中心に説明した。

3. 若手医療ビジョン委員会の公開委員会について（城守理事）

と き 3月15日（日）午後1時30分～3時30分

ところ 京都府医師会館3階大ホール

テーマ 「いま、医師会に求められるもの～組織率低下がもたらす危機～」

上記の内容で公開委員会を開催することを報告するとともに、各地区医から5名以上の動員を依頼した。（医報3月1日号参照）

4. 平成27年度介護報酬改定説明会について（関理事）

3月22日（日）午後1時30分～4時30分 国立京都国際会館

3月23日（月）午後1時30分～4時30分 国立京都国際会館

3月25日（水）午後1時30分～4時30分 舞鶴市民会館

各関係団体と共催する説明会の日程を紹介。1機関（1事業所番号）につき2名までの参加となることを説明し、別途京都府・京都市から指定事業所・施設宛に案内が送付されることを報告。

また、みなし指定（居宅療養管理指導・訪問看護・訪問リハビリ）のみ実施の事業所については開催案内が送付されないことから、4月以降の京都医報で予定している特集を利用いただくよう理解を求めた。

5. 「10のアイメッセージ」ポスター送付について（関理事）

京都認知症総合対策推進計画（京都式オレンジプラン）において、認知症の方とその家族が望む社会の姿を盛り込んだ「10のアイメッセージ」について、啓発用ポスター及び啓発用冊子「心でつなぐ、地域で包む“認知症”」作成し、配布することを報告。積極的な活用を求めた。

6. 「京都市版認知症ケアパス」の送付について（関理事）

「気づいて・つながる認知症ガイドブック～京都市版認知症ケアパス～」を作成し、京都医報3月15日号で配布することを報告。

併せて、3月15日（日）14:00～16:30に龍谷大学響都ホール校友会館（アバンティ9階）で開催する「認知症フォーラム in きょうと『認知症 知って学んで考えよう』」においてもガイドブックを配布することを報告し、積極的な参加を呼びかけた。

また、患者の受診が想定される京都市の近隣地域（宇治久世・乙訓・亀岡地区等）においても、周知を依頼した。

7. 府医指定学校医制度の一斉更新について（松田理事）

今年は3年に1度の一斉更新の時期であることを報告し、更新手順と今後の予定を説明。

京都市立学校の学校医においては、京都市学校医会が取りまとめて申請を行うものの、京都市外は地区医ごとの取りまとめとなることから、理解と協力を求めた。

なお、2月末から3月初旬にかけて各学校医宛てに更新申請書が送付されることから、京都市外の学校医については5月31日までに各地区医に提出を求めるとともに、地区医は6月初旬に取りまとめた更新申請書を府医へ提出するよう協力を依頼した。

8. 第29回日本医学会総会2015関西について（小野理事）

事前参加登録について、京都では目標数を達成しているものの、全体として登録者数が伸び悩んでいることから、登録期間が再延長され3月24日（火）までとなったことを報告し、多数の登録を呼びかけた。

続いて、3月28日（土）～4月5日（日）に神戸国際展示場において開催される一般公開展示（未来医XPO'15）に、近畿医師会連合（主管：京都府医師会）で「和食と健康」をテーマにブースを出展することを報告。日本料理アカデミー所属の一流和食料理人による講義や実演等に加え、府市民向けの広報誌「BeWell」をベースにしたパネル展示を企画していることから、多数の来場を求めた。

その他、医学会総会開催中は、京都駅ビルを中心に「医総会WEEK」イベント、京都大学総合博物館での「医学史展」、京都国際漫画ミュージアムでの「医師たちのブラックジャック

ク展」等の各種イベントが同時開催されることを報告し、積極的な参加を依頼した。

9. 学術講演会の今後の予定について（小野理事）

3月に予定している京都府医師会学術講演会を紹介し、多数の参加を呼びかけた。

10. 京都府老人医療給付制度（~~老~~41）の見直しについて（古家理事）

高齢受給者（70～74歳）の医療費窓口負担について、国の一部負担金等軽減特例措置の廃止に伴い、平成27年度より京都府老人医療給付制度（対象65～69歳の低所得者・独居老人等）（~~老~~41）においても、4月1日より自己負担割合を2割に上げるとともに、所得制限も見直され8月1日より低所得者（所得税非課税）へ一本化されることを報告。（京都医報3月1日号参照）。窓口での新証確認や自己負担割合の変更に十分注意するよう、周知を依頼した。

11. 「京都府医師会勤務医部会設立30周年記念講演会」の開催について（上田理事）

と き 3月21日（土・祝）午後3時

ところ 京都ブライトンホテル「麗華の間」

上記の日程で開催することを報告。特別講演①ではアートアクアリウムの第一人者である木村英智氏から「何が人を惹きつけるのか?」、特別講演②では京都の老舗呉服店『藤井紋』四代目の藤井浩一氏から「守るべきもの・変えるべきもの」をテーマに、講演を予定しているとして、多数の参加を呼びかけた。